他者との関係構築的な社会認識形成を評価する中学校社会科の
ペーパーテスト事例　その１

「大型スーパーは地域を救う救世主か？破壊者か？」：フードデザート問題を考える

※実践事例については，全国社会科教育学会編『社会科教育学実践ハンドブック』pp.97-100 参照

（社会論争問題としてのパフォーマンス課題を想定）

〔問　題〕

あなたは，Ａ市に居住する市民です。この市では，市郊外の他市や高速道路 IC と接続するバイパス道路沿いに，「大型ショッピングモールを誘致することの是非」を問う，住民投票が近々予定されています。今日は，それに先立ち「公開討論会」が開催されており，あなたはそれに参加しています。こうした状況を想定した上で，以下の各問に答えなさい。

（※あなたが選択する立場によって，評価の善し悪しに影響することはありません。）

（１）　都市を，**資料１**の３タイプに分類したとき，あなたの居住する●●市は，どのタイプに最も近いですか。記号で答えなさい。*[関連性：係わり]*

【資料1】 都市の分類（※いずれも仮想の都市である）

都市タイプ	**地域の概要**
タイプＡ	大都市まで JR 線で約 40 分のベッドタウン。近年，人口が増加しつつあり，高速道路 IC や国道などの交通網，学校，工業団地などインフラの整備が急速に進んでいる。
タイプＢ	かつて，高度成長期には豊富に産出される鉱産資源を背景に，賑わいを見せた地域。近年は，人口流出，高齢化が顕著である。特に市街地商店街の空洞化が進行している。
タイプＣ	のどかな田園風景が広がる農村地帯。農業を中心に，第１次産業が特に盛んである。行政が主導して町おこしの機運が高まっている。高齢化率が約４８％。

【出典】農林水産省 農林水産政策研究所 食料品アクセス研究チーム『食料品アクセス問題の現状と対応方向』付属資料，2011 年を参考に，発表者が作成。

http://www.maff.go.jp/primaff/koho/seika/project/pdf/access1-3sec.pdf

（2）討論会の中で，参加者のＢさんが，

「市内中心部に住む私にとっては，大型ショッピングモールが郊外にできることで，市内中心部の商店街がシャッター街となり，日常生活に必要な生鮮食料品を容易に手に入れることができなくなり困るので，誘致しないでほしい！」

との趣旨の主張をしました。

①　この発言をしたＢさんは，どのような年齢・職業の人と考えられますか。次のうちから一つ選び，記号で答えなさい。また，そのようにあなたが想定した理由を，下の解答例にならってＢさんの言説として説明しなさい。

[関連性：係わり][状況性：拘わり]

ア　独身高齢者女性：70 代　　**イ**　非正規雇用者男性：30 代
ウ　就職活動中の学生女性：20 代　　**エ**　主婦：40 代
オ　公務員男性：40 代　　**カ**　地元建設会社社長男性：　50 代

例）私は，●●（属性：上記語群より選択）です。私は，●●なので，
買い物が不自由になると大変困るのです。

②このようなＢさんの主張は，近年，地理学では「フードデザート（食の砂漠化）」問題として注目を集めています。この概念をより正しく把握するために，特に必要ではない資料を，次のうちからすべて選び記号で答えなさい。

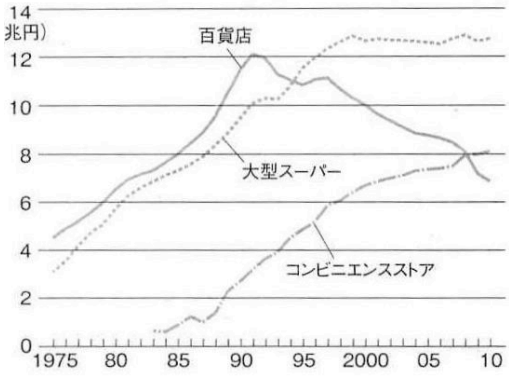
ア　欧米諸国での大型店進出の事例　　**イ**　県内近隣市町村の商店街の集客数
ウ　市内公示地価の推移　　**エ**　ファミリーレストランの分布状況
オ　市内の年齢別人口分布状況を示した主題図　**カ**　外国人登録件数の推移

[関連性：係わり]

（3）Ｂさんの主張に続いて，あなたが発言することになりました。「誘致賛成」，または「誘致反対」のいずれかを選んだ上で，次の**資料２～５**の内の一つ以上の資料を用いて，その考え(あなたの主張の内容)を説明しなさい。その際，必ずＢさんの意見に触れる(引用，批判，妥協など)こと。

[関連性：係わり]　[他者性：関わり]　[状況性：拘わり]

【資料２】百貨店，大型スーパー，コンビニエンスストアの売上高の推移

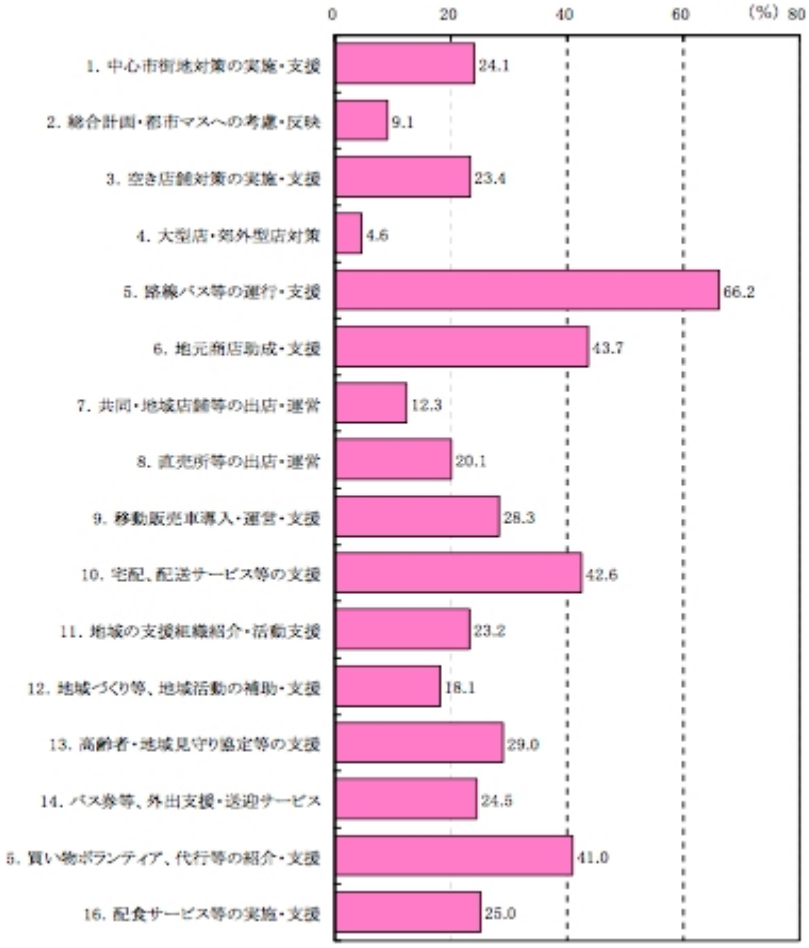


経済産業省および日本フランチャイズチェーン協会しらべ。大型スーパーは、働く人が50人以上いて、売り場面積の半分以上でセルフサービス（自分で商品をえらび、レジで料金を支払うシステム）を行っている商店。2010年の商店の数は、百貨店が274店、大型スーパーが4683店、コンビニエンスストアが４万2347店となっています。

出典：矢野恒太記念会編『日本のすがた 2012』（「日本国勢図会」ジュニア版）

【資料３】買い物が不便・困難な住民に各市町村（行政）が必要と考える対策

（日本全国の市町村へのアンケート調査　※複数回答：回収率　約 64%）



【出典】農林水産省 農林水産政策研究所 食料品アクセス研究チーム『食料品アクセス問題の現状と対応方向』付属資料，2011 年。 http://www.maff.go.jp/primaff/koho/seika/project/pdf/access1-5sec.pdf

【資料４】働く人と失業者の数

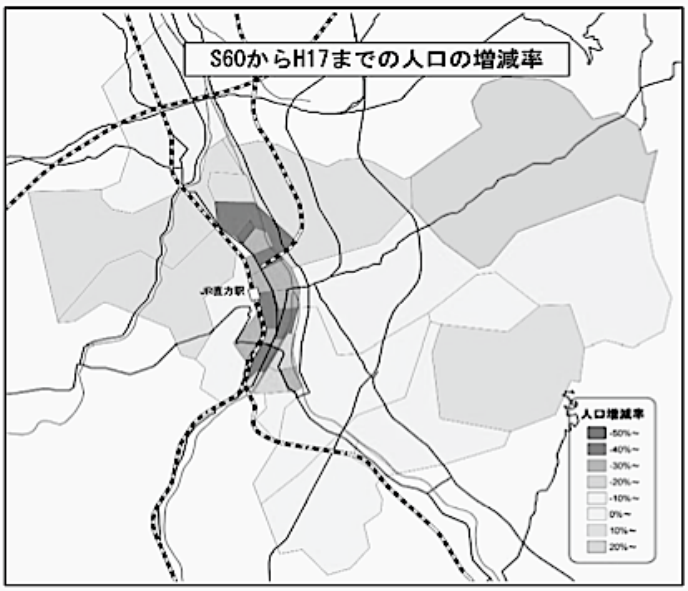
働く人と失業者の数（単位　万人）

	就業者	完全失業者	完全失業率（%）
1960	4 436	75	1.7
1970	5 094	59	1.1
1980	5 536	114	2.0
1990	6 249	134	2.1
2000	6 446	320	4.7
2009	6 282	336	5.1
2010	6 257	334	5.1

総務省しらべ。完全失業率は、労働力人口にに対する完全失業者のわりあい。左の用語説明を参考にしてください。完全失業率がもっとも高かったのは2002年平均で5.4％（男が5.5％、女が5.1％）でした。

【出典】：矢野恒太記念会編『日本のすがた 2012』（「日本国勢図会」ジュニア版）

【資料５】Ａ市の人口増減率



【出典】：『直方市中心市街地活性化基本計画』2009 年。

http://www.city.nogata.fukuoka.jp/var/rev0/0011/2277/tyuusinsigaiti_kihonkeikaku_h230331.pdf

（4）討論会が終わり，あなたは自分の主張を裏付けるためのデータを集めるために，より詳細な調査(文献，フィールドワーク，WEB 検索等様々な方法を含む)を行うことにしました。

どのようなデータが収集できれば，あなたの主張はより説得力を持たせられますか。

「私の意見：誘致賛成 or 誘致反対（どちらかに○）
●●のために，●●を調べる」

の形式で説明しなさい。

[状況性：拘わり]

[解答・採点基準例]

（1）略　（例えば，発表者の居住する福岡県直方市ならば，タイプＢとなる。）

（2）

①　略（一般的にはアを想定しているが，これに限るものではない）

例）ア

私は，７０代独身の高齢者です。私は車の免許も持ちませんし，病気がちで外出することもできにくい状態ですので，近隣の商店街の利用ができなくなり，買い物が不自由になると大変困るのです。

※採点基準：買い物難民，健康被害等，社会的弱者である旨の記述があること。記号選択は限定しない。

②　エ，カ

（3）解答例：(誘致賛成)

※資料２，３を使用した例

「私は，誘致には賛成です。ただ確かに，誘致の結果，Ｂさんの言うように社会的に弱い立場の方に影響が出ると言うことは避けなければなりません。このことに関しては，誘致によるメリットから，次の想定により，解決可能です。資料２のように近年の大型スーパーは賑わいを見せており，Ａ市財政に余裕が生まれる。資料３のように，我が国の行政の多くは，これらの方々に，自動車による移動店舗への補助，空き店舗だらけになった商店街の減免税措置など，何らかの支援をすべきことを自覚している。よって，財政的余裕が生じれば，それら支援を実現することも可能となります。」

※採点基準：一つ以上の資料を活用していること。また，Ｂさんの主張を取り上げ，引用・批判・妥協等の関わりから自己のオリジナルな主張を展開していること。

（4）解答例：（誘致反対の立場から）フードデザートの理論的確かさを裏付けるために，関東地方など我が国の別の地域に位置する本市と似た状況の都市での同様の先行事例を調べる。

※採点基準：自己の主張を「他地域の事例」または「過去の事例」，「将来の見通し」のいずれかの視点から正当化できる具体的なデータ資料を想定していること。